

陸奥湾湾口海域のイカナゴ類幼魚 (コウナゴ) 分布調査結果について (R7)

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

陸奥湾湾口海域において、夜間に集魚灯を5分以上照らして、イカナゴ類幼魚 (コウナゴ) の分布状況を目視観察しましたので、その結果をお知らせします。調査は令和7年4月下旬から5月下旬にかけて、佐井村、外ヶ浜町平館および今別町の各地先 (図1) で2回ずつ行いました。その結果、イカナゴ類幼魚は4月に佐井村地先で全長3cm未満を主体に1点あたり最大30尾出現しました (表1)。5月には、昨年は出現しなかった佐井村および今別町地先でわずかに出現しました。1地点あたり最大出現尾数は昨年より若干多かったものの、海域全体の分布密度は依然として極めて低い水準にあると考えられました。

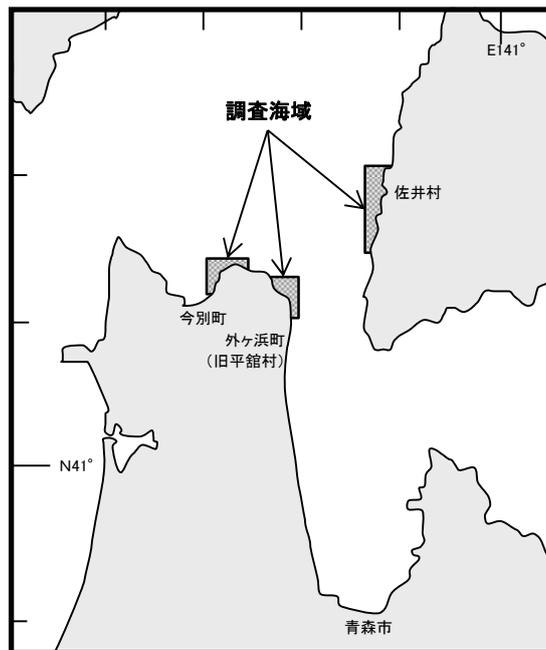


図1 調査海域の概略

表1 調査結果 (R7)

調査海域	調査月日	時間	調査地点数	水温(°C)	水深(m)	出現状況 (尾/地点)	主たる魚体サイズ [†]
佐井村(牛滝～福浦)	4月22日	19:00 - 20:16	4	9.5 - 9.9	8.6 - 19.2	0-30	チリメン
	5月15日	18:57 - 20:38	5	11.8 - 12.5	8.2 - 17.8	0-1	チリメン
外ヶ浜町(平館)	5月9日	19:00 - 19:40	5	11.3 - 12.5	2.4 - 9.2	0	-
	5月28日	19:19 - 20:07	6	12.6 - 14.8	2.7 - 4.0	0	-
今別町(大泊～砂ヶ森)	5月9日	19:08 - 21:24	8	11.1 - 12.9	9.9 - 41.1	0-3	小羽
	5月27日	19:32 - 21:14	8	12.3 - 13.1	9.1 - 28.7	0-1	小羽

[†] チリメン：全長3cm未満 小羽：全長3-4cm 中羽：全長4-6cm